

おれんじ通信

認知症になっても
安心して暮らせる地域づくり



表紙：令和7年9月 おれんじフェスタ
撮影場所：三世代交流センター

お知らせ

事業報告・わんわんサポーター通信ほか

【今回の内容】

- ・「若年性認知症を理解するセミナー」を開催しました
- ・「第二小学校認知症サポーター講座」を開催しました
- ・わんわんサポーター情報誌



【発行】滝川市地域包括支援センター（市役所1階） 滝川市大町1丁目2番15号
☎0125-28-8029 発行日：令和8年1月31日



98.福

99.プリン

100.ココ

101.くう・ティアラ

102.琥珀

103.ムギ

104..ベル

105.きりたんぽ

106.ムイ

107.まめた

お散歩大好き
ちょこおばあちゃんを助ける
パトロール報告

パトロール中にNO2柴犬ちょこが人助けをしました。
お手紙を頂いたので了承を得てお知らせをします。

Amazing

ある日の夕方、お散歩中にちょこが何か気配を感じました。
呼ぶような声のする方に行ってみると、舗装道路とそば畑の間の少し低くなった草の中にうつ伏せに
うづくまっているおばあちゃんを見つけました。
慌てて「どうしましたか？痛い所はないですか？」などと声を掛けながら舗装道路の道まで連れて立
たせてあげました。

おばあちゃんは、「散歩の途中で疲れたので、ひと休みしようと道路脇の電柱に寄りかかったと
ころ誤って草むらに転がってしまったとのことでした。
人助けをしたちょこは、良いことをしたねとたくさん撫でて褒めてもらい、オヤツをいつもより
多くもらうことができました。とお手紙をいただきました。

パトロールの様子・お散歩中に迷っている人や困っている人を見つけた・地域や集まりでわんわんパトロールの
PRをした等のエピソードがありましたら是非、お知らせください。

☎ 0125-28-8029 ✉ kaigo@city.takikawa.lg.jp 【件名】わんわんパトロール

認知症ミニコラム 「認知症」早く相談することはなぜ良いのか？

早く専門家に相談することで、自分の人生を選択でき、様々な準備ができます。早く理解のある人に出会ったり、
合う病院が見つかるかも知れません。認知症はすぐに進行する病気ではないので早く相談すれば人生をより良く生
きるヒントを得ることができると言われています。

「若年性認知症」を理解するセミナー を開催しました

11月7日(金)、48歳の時に若年性アルツハイマー型認知症を発症した松本健太郎さんと公認支援者の砂川市立病院の大辻誠司さんをお招きし、認知症への理解を深めるセミナーを開催しました。

当日は、163名と多くの方にご参加いただき「認知症と診断されてからの暮らしや気持ち、工夫について」のお話を聞きました。



◎認知症とわかった時の気持ち
【子どもの進学が控えている】
「死んでる場合じゃない、
稼がないと…」

◎生活の工夫

- ・スマホを無くす⇒妻のスマホと連携
- ・財布を無くす⇒小銭
- ・薬の飲み忘れ⇒AI活用
- ・新しいこと⇒できないことはしない
- ・記憶のサポート⇒タブレットに記録など



現在、松本さんは砂川市の
「SHIRO」でご活躍中です!!

そのイメージ、
変えていこう、
新しい認知症観



【お話しを通じて学んだこと】
(アンケートより抜粋多い順)

- ◎認知症について職場や地域の理解が必要
- ◎認知症だから何もできなくなるわけではない
- ◎若くても認知症になることがある
- ◎認知症になったときの心の準備ができた
- ◎認知症にならないための予防策を考えてみたい
- ◎認知症は何も怖い病気ではない

第二小学校認知症サポーター養成講座 を開催しました

11月27日(金)、滝川第二小学校4年生を対象に「認知症サポーター養成講座～認知症ってなあに?～」を開催しました。

当日は、生徒、先生、保護者74名が参加し、生徒は、6グループに分かれ、認知症クイズや「同じことを何度も聞かれる～学習発表会いつだった?～」について考えました。

◎当日の「認知症クイズ」



Q1. 認知症は脳の病気である?

A. YES

脳の病気が原因で脳の働きが低下してこれまでうまくできたことがうまくできなくなった状態をいいます。

Q2. 認知症になると道に迷うことがある?

A. YES

自分の今いる場所がわからなくなり家に帰ることができなくなることがある。

Q3. 認知症が進行したら何もわからなくなる?

A. NO

何をしたか出来事は忘れても楽しかったなどの感情は忘れずに残ります。

一生懸命、みんなで考えます!
「どうしたらいいかな…」



講師:キャラバンメイト

グループホームコスモス 前川・本郷氏、居宅介護支援事業所こうよう 内田氏、グループホームカルミア 梶野氏
介護保険事業所土筆 大西氏、小規模多機能型居宅支援事業所土筆の郷 大西氏、地域包括支援センター 東辻



【お話しを通じて学んだこと】
(アンケートより抜粋)

- ◎何も覚えていなくても「楽しい」という感情はのこっているとすることがわかった。
- ◎認知症はいろいろな種類があるのがわかった。
- ◎家族がなったりしたら、やさしくつたえたりまた思い出をたくさんつくったりする。

